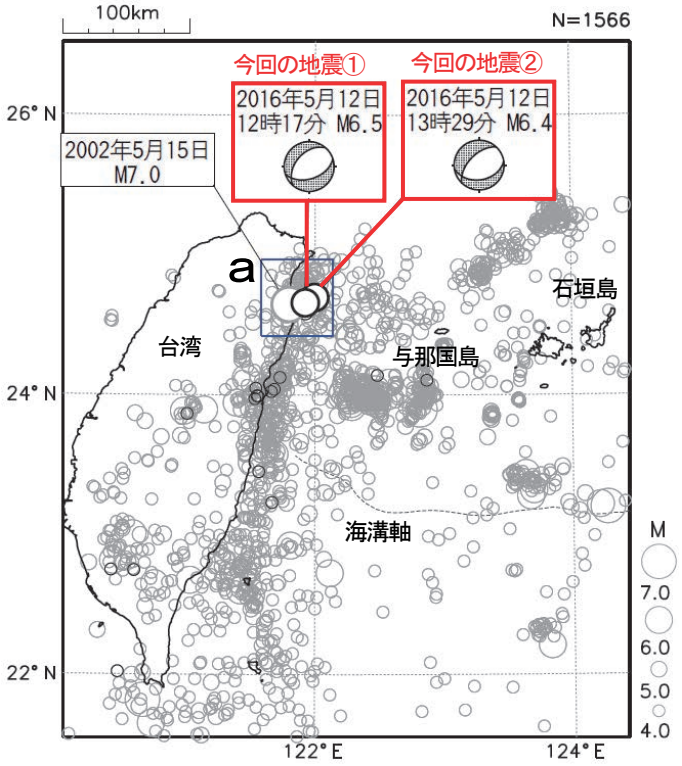
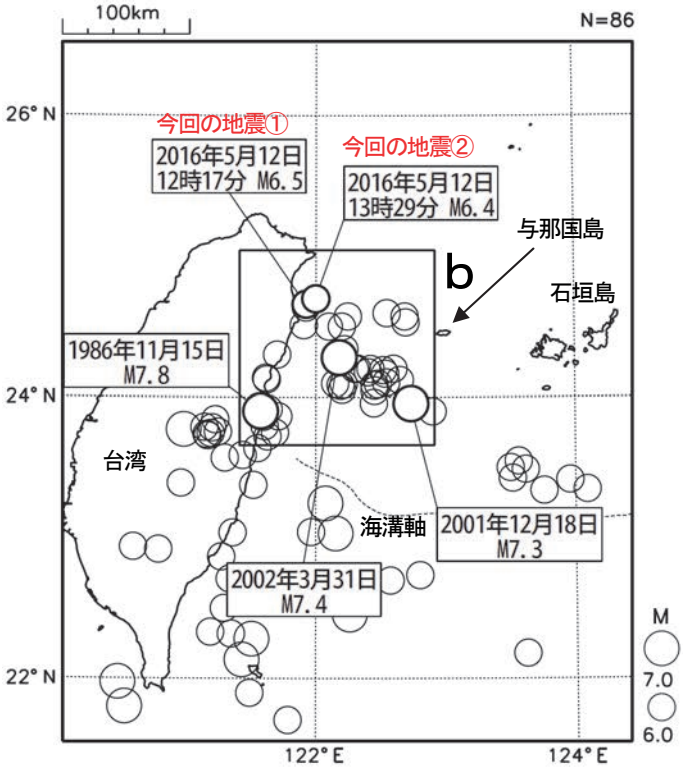
５月 12 日　台湾付近の地震

震央分布図
（2000 年７月１日～2016 年５月 31 日、
深さ０～100km、M≧4.0）
2016 年５月以降の地震を濃く表示
図中の発震機構は CMT 解



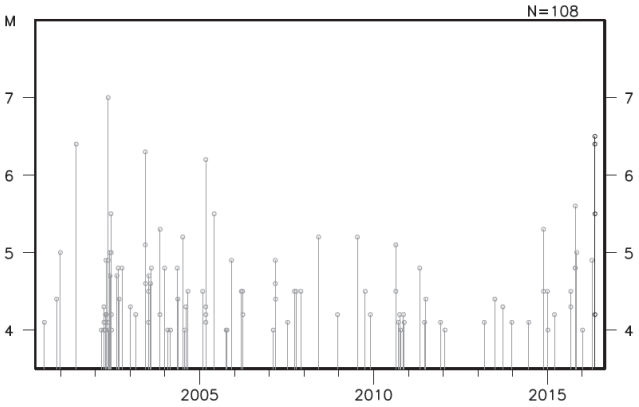
震央分布図
（1960 年１月１日～2016 年５月 31 日、
深さ０～100km、M≧6.0）
今回の地震①、②の震源要素は気象庁による。
その他の震源要素は米国地質調査所（USGS）による。

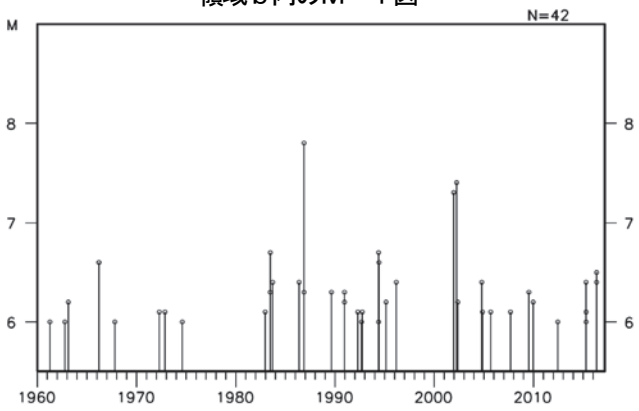


2016年５月12日12時17分に台湾付近（与那国島の西北西約110km）でM6.5の地震①（沖縄県内で最大震度２）が発生した。同地震の震央付近では同日13時29分にM6.4の地震②（最大震度３）が発生した。いずれの地震も発震機構（CMT解）は、北北西－南南東方向に張力軸を持つ正断層型であった。これらの地震により気象庁は津波予報（若干の海面変動）を発表した。

2000年７月以降の活動をみると、この地震の震央付近(領域ａ)では、2002年５月15日にM7.0の地震（最大震度３）が発生するなど、M5.0以上の地震が時々発生している。

領域ａ内のM－Ｔ図



1960年１月以降の活動をみると、今回の地震①、②の震央周辺（領域ｂ）では、1986年11月15日にM7.8の地震（最大震度３）が発生し、宮古島平良で30cmの津波を観測し、台湾では死者13人、負傷者45人の被害が生じた（被害は、「宇津の世界被害地震の表」による）。また、2001年12月18日にM7.3の地震（最大震度４）及び2002年３月31日にM7.4の地震（最大震度３）が発生し、共に与那国島久部良で12cmの津波を観測した。

領域ｂ内のM－Ｔ図